

《目 次》

広場の造形〈誌上作品発表〉	西脇友一・壺井勘也・齋部哲夫・柳楽隆一・山田幸作・丹下健三・村松秀太郎・今駒清則
フランス中世小領主館に見るローマ尺用法	藤本 康雄
民芸の神髄を継承するウオーレン・マッケンジー	池田 靖
デザインの森を抜ける道——デザイン学概論ノート〔1〕——	西尾 直
藍植物による染料加工——「製藍」技術の民族誌的比較研究——	井関 和代
James Joyce の “A painful Case” ——『ダブリン市民』再読（5）——	田畑 榮一
ウィリアム・モリス試論——ケルトに架ける橋——	斎藤 公江
ボードレールと丸亀美術館のカラー——「憂愁」理念のさらなる理解のために——	山田 兼士
聖カスバートの『移葬記』	水島ヒロミ
イタリアの文化財行政	石井 元章
ヴィラ・ジュリアをめぐる諸問題——建築プログラムにみる教皇ユリウス三世のカプリッチ——	小谷 訓子
存在の彼岸「森と海」〈誌上作品発表〉	里 博文
P.H. Emerson と H.P. Robinson の写真論論争	豊原 正智・犬伏 雅一
映画の復元——『何が彼女をそうさせたか』（1929）に関して（1）——	太田 米男
プロデューサーの仕事	玉居原作郎
比喩の構造——絵画と写真そして言語——	山口 真理
両引の里と彫刻を通して見えてくる野外彫刻の可能性	菅原 二郎
国際交流に果たす日本庭園の意義	福原 成雄
近つ飛鳥の『夏の夜の夢』	宮村 一幸
プラハ・カドリエンナーレ Q&A	堀田 充規
教養課程におけるコンピュータ・リテラシー教育	
——情報処理概論Ⅰ（演習）の実施状況——	城 崇・荒川 透・牧 泉
DIGITAL WORKS プロジェクト——人権啓発のためのデジタルコンテンツ制作——	太田 明仁
大阪芸術大学所蔵のシリンダーレコード——データベース構築とデジタルアーカイブ——	芹澤 秀近

# CONTENTS

## Arts in Public Spaces

- ..... Tomokazu Nishiwaki, Kanya Tsuboi, Tetsuo Saibe,  
Ryuichi Nagira, Kosaku Yamada, Kenzo Tange,  
Hidetaro Muramatsu, Kiyonori Komma
- A Study on the Use of the Roman Foot in Feudal Residences of Medieval France  
..... Yasuo Fujimoto
- Warren McKenzie's "Mingei-Sota" ..... Tadashi Ikeda
- The Way through the Maze of Design ..... Tyoc Nishio
- A Comparative Study of Ethno-technology for "The Process of Making Indigo"  
..... Kazuyo Iseki
- James Joyce's "A Painful Case" —Re-reading of Dubliners (5)—  
..... Hidekazu Tabata
- An Essay on William Morris and his Celtic Tradition ..... Kimie Saito
- Baudelaire et Corot du Musée Marugame  
—Pour Comprendre Mieux l'Esprit de Spleen— ..... Kenji Yamada
- On the Account of the Translation of St. Cuthbert ..... Hiromi Mizushima
- Amministrazione dei Beni Culturali in Italia ..... Motoaki Ishii
- Villa Giulia: The Caprice of Pope Julius III ..... Noriko Kotani
- Beyond this Dwelling: the Forest and the Sea ..... Hirofumi Sato
- Reexamining the Robinson-Emerson Debate  
..... Masatomo Toyohara, Masakazu Inubuse
- The Restoration of "Naniga-kanojo-o-so-sasetaka (What made her do it?)" 1929 (I)  
..... Yoneo Ota
- On the Profession of "Producer" ..... Sakuo Doihara
- A Construction of Figure of Speech —Painting, Photography and Language—  
..... Mari Yamaguchi
- The Possibility of Open Air Sculpture through Amabiki Village and Sculpture  
..... Jiro Sugawara
- The Significance of Japanese Gardens for International Exchange  
..... Masao Fukuhara
- Chikatsu-Asuka's "A Midsummer Night's Dream" ..... Kazuyuki Miyamura
- Prague Quadrennial Q & A ..... Atsumi Horita
- Computer Literacy in the General Education Department of Osaka University  
of Arts -How Outline of Information Processing I has operated since 1997—  
..... Takashi Joh, Toru Arakawa, Izumi Maki
- DIGITAL WORKS Project ..... Akihito Ota
- The Cylinder Record Collection in Osaka University of Arts  
—Database Building and Digital Archives— ..... Hidechika Serizawa

## 《表紙写真》

### 東芝製B形ペロシティマイクロホン

昭和32年に従来のA形ペロシティマイクロホンを基にして、新しい技術を組み込み、小型軽量化されたリボンマイクロホン。

指向性は双指向性で、トーク、対談、ドラマのセリフや語り、邦楽の歌、楽器用として、広範囲に使用された。

### PT-3型ショルダー録音機

昭和29年にPT-1型の改良機として登場。

「デン助」の愛称で呼ばれ、本格的なショルダー録音機として、あらゆる番組制作に使用された。

小山 保広 放送学科

## 《筆者及表紙作成者紹介》

秋山 廣行	大阪芸術大学非常勤講師（ドキュメント、スタジオ撮影）
荒川 透	大阪芸術大学助教授（理論化学）
池田 靖	大阪芸術大学教授（コンピュータ・グラフィックス、マルチメディア）
石井 元章	大阪芸術大学助教授（イタリア美術史、日伊文化交流）
井関 和代	大阪芸術大学教授（民族美術学、染織）
犬伏 雅一	大阪芸術大学非常勤講師（美学・映像理論）
太田 明仁	大阪芸術大学助教授（デザイン）
太田 米男	大阪芸術大学助教授（映画）
小谷 訓子	大阪芸術大学講師（イタリア・ルネサンス）
小山 保広	大阪芸術大学助教授（音響技術）
今駒 清則	大阪芸術大学教授（写真）
斎藤 公江	大阪芸術大学助教授（英文学）
齋部 哲夫	大阪芸術大学教授（立体表現）
里 博文	大阪芸術大学講師（デジタル・アナログ融合写真）
城 崇	大阪芸術大学教授（有機金属化学）
菅原 二郎	大阪芸術大学教授（美学）
芹澤 秀近	大阪芸術大学助教授（音楽音響）
田畑 榮一	大阪芸術大学助教授（英米文学）
田村 昭彦	大阪芸術大学教授（デザイン）
丹下 健三	大阪芸術大学教授（テキスタイル）
壺井 勘也	大阪芸術大学助教授（環境計画実技）
土居原 作郎	大阪芸術大学教授（演劇・映像）
豊原 正智	大阪芸術大学教授（映像学）
柳楽 隆一	大阪芸術大学助教授（彫塑・造形）
西尾 直	大阪芸術大学教授（デザイン）
西脇 友一	大阪芸術大学教授（ヴィジュアル・デザイン）
福原 成雄	大阪芸術大学助教授（造園・環境デザイン）
藤本 康雄	大阪芸術大学教授（西洋建築史）
堀田 充規	大阪芸術大学講師（舞台芸術）
牧 泉	大阪芸術大学教授（理論化学）
水島 ヒロミ	大阪芸術大学助教授（西洋美術史）
宮村 一幸	大阪芸術大学教授（演技演出）
村松 秀太郎	大阪芸術大学教授（日本画）
山口 真里	大阪芸術大学芸術研究所嘱託助手（美学）
山田 兼士	大阪芸術大学助教授（フランス文学・詩学）
山田 幸作	美術学科第一期卒業生（共同制作 彫刻）

## 《編集後記》

「藝術」第23号ができあがりました。

何ごとにつけても声高く連呼されてきた西暦2000年、20世紀がついに終ろうとしています。それにつけていえば、20世紀最後の夏は、シンフォニーの最終楽章のように烈しく盛んでした。おそらく人々の記憶にとどまる夏でありましょう。長いきびしい暑さのみならず、三宅島の噴火、名古屋の洪水、鳥取の地震等々、自然が荒々しい身振りで世紀の終りを告知するかのようでした。

学内にあっては、新しい世紀の始まり2001年度発足の通信教育部の開設にむけての準備、また受験生募集の対策、カリキュラム改革など多事でした。それにも拘らず、執筆者はじめ各方面のご尽力を得て、おかげをもって本号の編集も順調に進み、予定通りお手元にお届けすることができました。心から感謝いたします。

今回の表紙は、放送学科からご提案・提供いただいたものです。撮影を写真学科の秋山廣行非常勤講師に、デザインはデザイン学科の田村昭彦教授にお願いしました。

また以前からの懸案になっていましたCDの附録が、学院のご配慮によって実現しました。CD本体およびジャケットのデザインは重ねて同教授、その線画は川北博子美術学科副手のお骨折りになりました。これによって論文・報告の発表形式もまた新しい方向にひろがってゆくことになりそうです。

厳しいご批判やご助言お寄せ下さい。

山崎 莩子

## 大阪芸術大学 紀要《藝術》23

平成12年11月21日発行

発行／大阪芸術大学

大阪府南河内郡河南町 TEL0721-93-3781

編集／大阪芸術大学紀要編集委員会

委員長	文芸学科・教授	山崎 莩子		
委員	美術学科・教授	足立 眞三	環境計画学科・助教授	下休場千秋
	デザイン学科・助教授	宮本 知	音楽教育学科・助教授	樋口 光治
	建築学科・教授	山形 政昭	演奏学科・講師	高久 理恵
	文芸学科・助教授	笹谷 純雄	舞台芸術学科・教授	宮村 一幸
	音楽学科・教授	芹澤 尚子	芸術計画学科・教授	豊原 正智
	放送学科・助教授	高木真理子	教養課程・助教授	伊藤 正博
	写真学科・助教授	原見 政男	芸術文化研究科・教授	武谷なおみ
	工芸学科・教授	井関 和代	芸術制作研究科・教授	河合 隆三
	映像学科・助教授	吉岡 敏夫		

印刷／日本写真印刷株式会社